



我が町の
消防団
番外編

南国市消防団
幹部会の皆さん

※お話は
武市団長
(写真前列中央)

にこにこライフ 179



幹部会の構成は、団長・副団長4名、分団長・副分団長22名の計26名です。幹部会のメンバーは、昔と比べてとても若返りましたね。昔は自分より10歳ぐらい年上の方が何人もいましたが、今は40〜50代ぐらいが増えました。みんな団の活動に熱心で、訓練もたくさんしています。年齢が若くなった分、上下の隔たりが少なくなり、雰囲気も良くなっているのです、どんどん魅力的な団になっていると感じています。

私が8年前に団長を任されてからは、幹部会を中心に「連携・団結・魅力」というテーマで、消防団活動に取り組んできました。消防署や自主防災組織などとの「連携」や、消防団員の「団結」は進んだと思いますが、やっぱり「魅力」というものは難しいですね。団員が「入ってよかった」と思える団、みんなが「入りたい」と思える団、みんなから好かれる団を目指していて、今もその途中です(笑)。

9月に団長が改選されるので、そこで引退をされるとのこと。「今の団の雰囲気を見てみると、安心して後進に引き継げる」と笑顔で話されていました。



蚊居田城跡

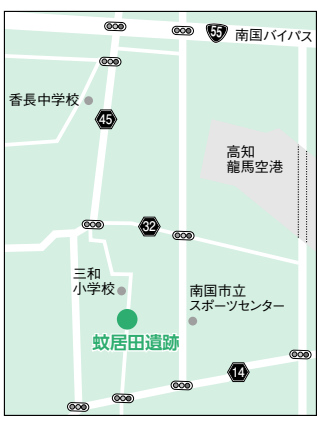
なんこく歴史散歩 第31回

蚊居田城跡は、三和小学校の南方200m、俗に城の松と呼ばれている付近にあります。城の一角には現在も城八幡が祀られています。築城者は中沢修理太夫重清といわれています。蚊居田城が築城された頃は南北朝の争乱の時代です。南朝方の新田義貞の甥である脇屋(新田)義治は、難を逃れて信濃や伊予に下って再挙を図りましたが果たせませんでした。その後も足利氏の追討の手を逃れて土佐に渡り、別府村から鏡村に身を寄せましたが、天授2(1376)年に病没したといわれています。義治の跡継ぎである重清は、まだ幼少のため家臣たちは皆四散しましたが、ただ1人近臣の中沢家重が養育したので、足利氏の注意をそらすためにも姓を中沢と名乗るようになった。

一蚊居田城跡一

成長した中沢重清は武勇に優れた武将であったといわれています。田村城主の細川氏に仕えて蚊居田2千貫の領主となり、隣の千屋城主とならぶ土佐四大封の一人に数えられるほどの有力土豪に成長しました。

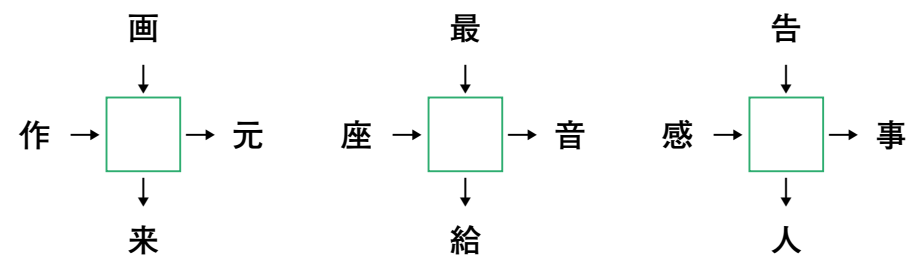
それから5代後の重芳の頃に、蚊居田城主であることから姓を蚊居田と改めました。当時の土佐は、守護代細川勝益が京都に去ってから、土豪が相争う乱世でした。蚊居田を名乗って3代目の重隆は、長宗我部氏と姻戚関係にあり、国親の重臣として活躍しました。江戸時代に入り、6代目重久は山内家に仕え姓を再び中沢に戻しました。その影響か、この付近には中沢という姓が非常に多いようです。



※お問い合わせは
生涯学習課文化財係
(880・6569) まで

親子クイズ 517

Q 矢印の方向に二字熟語ができるように、□に漢字を入れてください。
その3つの漢字を使ってできる言葉は何でしょう？



【第516回解答】

④

【第516回当選者】

- 岡本 広幸 (大浦甲)
- 小倉 芳子 (大浦甲)
- 西村 仁志 (緑ヶ丘)
- 森 則子 (緑ヶ丘)
- 山本美智代 (十 市)

■応募締切／6月15日(月)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大浦甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／46通 ★正解率／96%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

52 人権学習シリーズ

「自分を好きになる」

皆さんは自分のことが好きでしょうか？好きな人もいれば、好きでない人もいます。私は、特にこれといった理由はないですが、好きではない方です。

なぜこのようなことを思ったかという、最近「自尊心」という言葉を初めて知ったからです。自尊心とは、自分のことをかけがえない存在として認め、欠点も含めて自分自身を好きだと思える気持ちのことです。

気になっていくつか調べてみると、自尊心が低いと、自分に自信が無い、消極的、人間関係を避ける、自分を卑下し他人への思いやりにかける、無気力などの傾向が見られることがあるそうです。

一方、自尊心が高いと、積極性や自主性、自分や周りの人を大切にするなど、社会の中で前向きに生きていく力を身に付けていくことができる傾向があることを知りました。

自分のことを好きか好きでないかで行動に影響があるとは思えなかったことも多かったですが、共感することが多く、自尊心が高い方が、物事を前向きにとらえることができるので、きて良いだろうと思います。ただ

し、間違った方向で高くなると「うぬぼれ」や「わがまま」など、自己中心的になることがあるので注意が必要となります。

自尊心の高め方をみると、自分を理解して受け入れること、地道に経験を積み重ねること、少しずつ強くなるようです。また、子どもなら、家庭での触れ合いを大切に、愛されていることや認められ褒められることにより自尊心が育まれます。愛されることにより自分に価値があることに気づき、認めたり褒めることで自信が持てるようになるそうです。

私も自分のことが好きになれるように、時間がかかるかもしれませんが変わっていきたいと思います。また、子どもたちが自分のことを大切に、他人にも思いやりを持つことができるよう自尊心を育める環境を周囲の皆で作っていきたいです。

*参考：高知県教育委員会
「Let's feel じんけん
「気持ちから行動へ」

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(880・6569) まで

市民からのお便り (親子クイズ) クイズの答えを考えていると、いろいろ勉強になります。

市民からのお便り (親子クイズ) 今回はかなり悩みました。血液型の考え方なんて何十年ぶりにしたろう？